

# 市財政の健全化判断比率状況

(H29 速報値)

**実質公債費比率 7.4%**

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H29	7.4%	21位	6.8%	25% (18%)*
H28	7.2%	21位	7.1%	
H27	7.6%	20位	7.3%	

順位は、県内44市町村の数値の低いほうからの順位。

\*早期健全化基準が18%に達した場合は、新たな借金をする際に県の許可を要するなどの制限がある。

**将来負担比率 64.1%**

年度別	小美玉市		県平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H29	64.1%	30位	37.0%	350%*
H28	61.2%	29位	55.0%	
H27	59.9%	29位	36.6%	

順位は、県内44市町村の数値の低いほうからの順位。

\*将来支払う可能性がある負債の一般会計に対する比率。

## H29年度会計別の決算額

会計別		歳入(万円)	歳出(万円)	歳出の前年度比	
一般会計		237億4,980	226億1,754	3.3%↓	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	65億2,599	64億4,018	5.9%↓	
	国民健康保険(白河診療所)	1億3,698	1億2,401	10.2%↓	
	後期高齢者医療保険	4億9,417	4億8,950	7.7%↑	
	介護保険(事業)	37億7,331	36億7,299	3.2%↑	
	介護保険(サービス)	506	481	16.2%↓	
	下水道	15億1,245	14億8,054	8.0%↓	
	農業集落排水	7億6,598	7億5,289	3.9%↑	
	戸別浄化槽	5,677	5,182	16.2%↑	
霊園	1,835	1,621	57.2%↓		
合計		370億3,886	356億5,049	3.1%↓	
企業会計	病院	収益的収支	1億9,243	1億9,243	
		資本的収支	0	5,456	
	水道	収益的収支	8億2,483	7億5,306	
		資本的収支	1億2,960	6億9,469	

\*実質公債費比率とは…市の実質的な借金が標準財政規模に占める割合のこと。数値が高いほど返済の負担が重いことを示す。

## 決算特別委員会Q&A

### 市政全般・市民生活・消防

#### ◎職員厚生に要する経費

**Q** ストレスチェック委託料は、受検者が去年に比べて減ったのに委託料がなぜ増えているのか。

**A** 全体の受検者は減っているが、ストレスの度合いによって医師面談ができるようになったりしている。医師面談者の経費が上がり、委託料が増えている。

#### ◎市税

**Q** 特別土地保有税が500万円弱ある。昨年からも収納率がゼロだが、これはどういうものが残っているのか。

**A** 特別土地保有税は、昨年度末に執行停止処理をしている。この法人は、もう倒産しているが実体がない。執行停止ということ、収入にはつながらなかった。

### 教育・福祉・医療

#### ◎学校支援対策事業

**Q** 学力向上支援員の目的、内容、効果は。

**A** 昨年度は小学校14名、中学校7名を配置した。児童・生徒のつまづき解消、あるいは学習意欲向上などに役立っている。

**Q** 今年の全国学力・学習状況調査の結果及び概要等は。



**A** 小学校6年生、中学校3年生を対象に、国語、算数（中学校は数学）と理科を今年度は実施した。小・中学校ともに国語、算数（数学）は平均よりやや低く、理科は、小・中学校ともに過去3回の調査の中でも高くなっている。

### ◎特定疾病療養者見舞金

**Q** 現実的に難病患者や難病の種類はどの程度増加の傾向にあるか。

**A** H29年度は330疾病で、H28年度は306疾病となっている。

**Q** 見舞金はどのように受け取るのか。

**A** 自己申請で対応している。

### ◎不妊治療費補助金

**Q** 申請件数とその結果は。

**A** 申請者の数はH28年度42件、H29年度34件と減少している。成功率は一般的に20%と言われているが、小美玉市のH29年度の成功率は39.1%となっている。



## 都市建設・産業経済

### ◎道路整備に伴う安全対策

**Q** 広域幹線道路等、新設道路と既存道路の接続部分に係る交通安全設備の設置までの流れは。

**A** 道路計画を立てる段階で地元警察署や茨城県の公安委員

会と交差点協議をし、交差点計画を定めている。その後、供用開始時期が具体的になった段階で、地元警察署に標識、停止線、信号機等の交通規制施設設置の依頼を行ない、交通量等を考慮の上、警察署が設置することになる。

**Q** 警察や学校、行政が危険箇所等の情報を共有し、できる場所から安全対策がされるよう、体制を構築してほしい。

### ◎消費者対策推進事業

**Q** 消費生活専門員への相談内容は。

**A** 近年は架空請求ハガキに関する相談が急増している。内容は契約不履行による民事訴訟など、難しい単語を使って危機感をあおり、費用などを請求する手口が多い。H29年度の相談件数は年間30件だったが、H30年度は4月から8月までの間で55件の相談があった。

### ◎下水道事業

**Q** 昨年、接続率を上げる対策を要望したが、H29年度の接続率は前年度と比較してどうなったか。

**A** H29年度の接続率は79.9%で、前年度は80.1%だったため、若干低くなっている状況。整備面積、整備の件数が増えたことが要因となっている。

**Q** 接続者に対する助成金の条件緩和など、接続率が上がる工夫をしてほしい。

